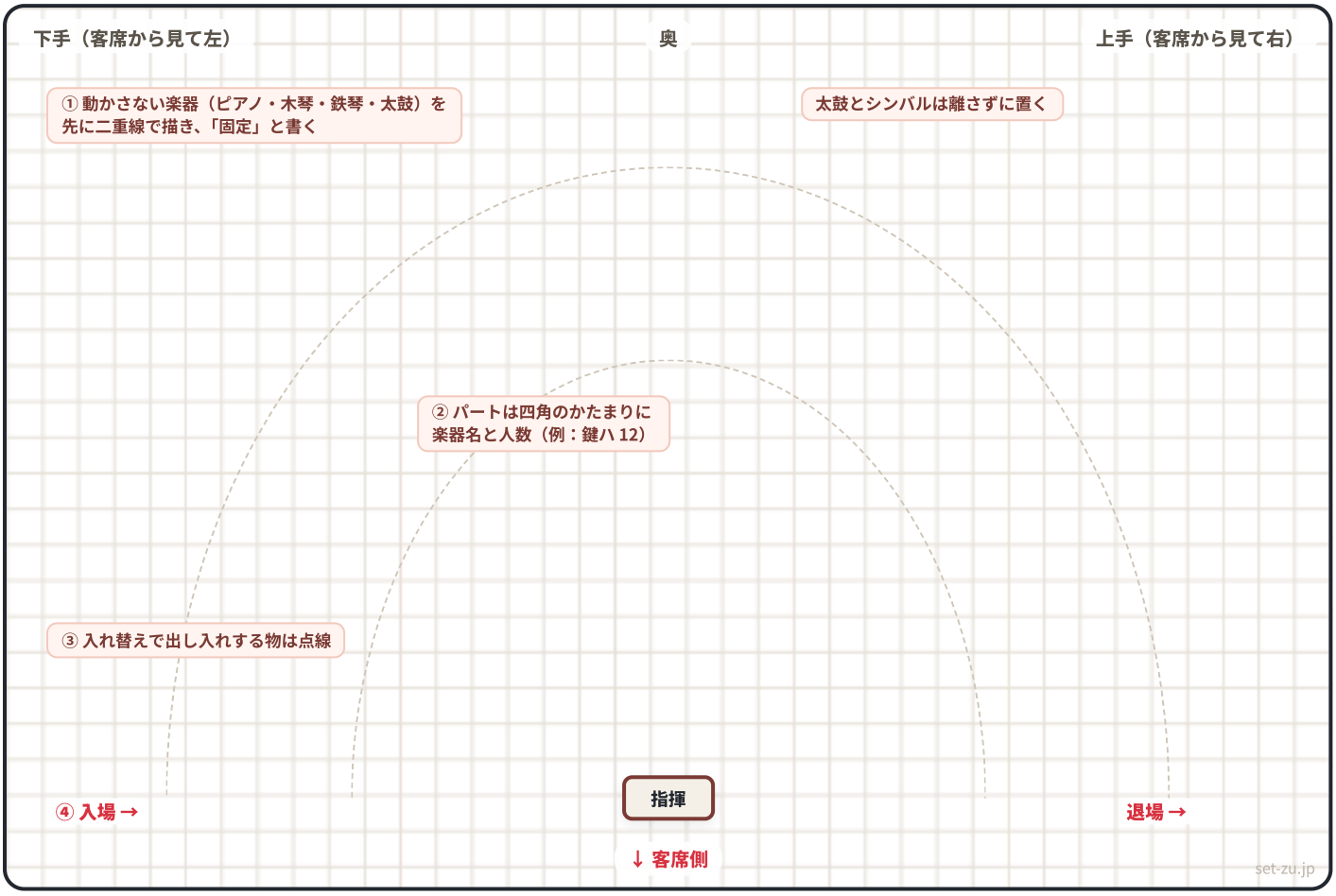
器楽合奏 配置図 記入用（音楽会・学習発表会・園の発表会）

動かさない楽器を**先に**決める
パートは**かたまり＋人数**で描く
様式があれば**様式が最優先**

学校・園／学年・クラス	行事（日付・会場）	出演人数	版・日付・確認者
			第　版（　／　） 確認：

① 配置図（上手・下手は客席から見た向き。動かさない楽器 → パートのかたまり → 入退場 の順に描く）



書き方：　四角＋人数＝パートのかたまり　▭＝動かさない楽器（固定）　⬚＝入れ替えで出し入れする物

○＝椅子・　✕　＝譜面台（使うパートだけ）　矢印＝入退場

② パート別の人数・台数・置き方／動かさない楽器・入れ替え・入退場

パート（楽器）	人数	台数	置き方	メモ（固定・持って入る・電源）
鍵盤ハーモニカ				
リコーダー				
アコーディオン				
木琴・鉄琴				
キーボード・オルガン				
ピアノ				
太鼓・シンバル				
小物の打楽器				
（　　）				
合計				椅子　　・譜面台

動かさない楽器（固定）
全学年・全クラスで共用する楽器

入れ替えで出し入れする物
入れる：
出す：
運ぶ人：

入退場・待つ場所
入場：下手 ・ 上手／退場：下手 ・ 上手
待つ場所：

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**

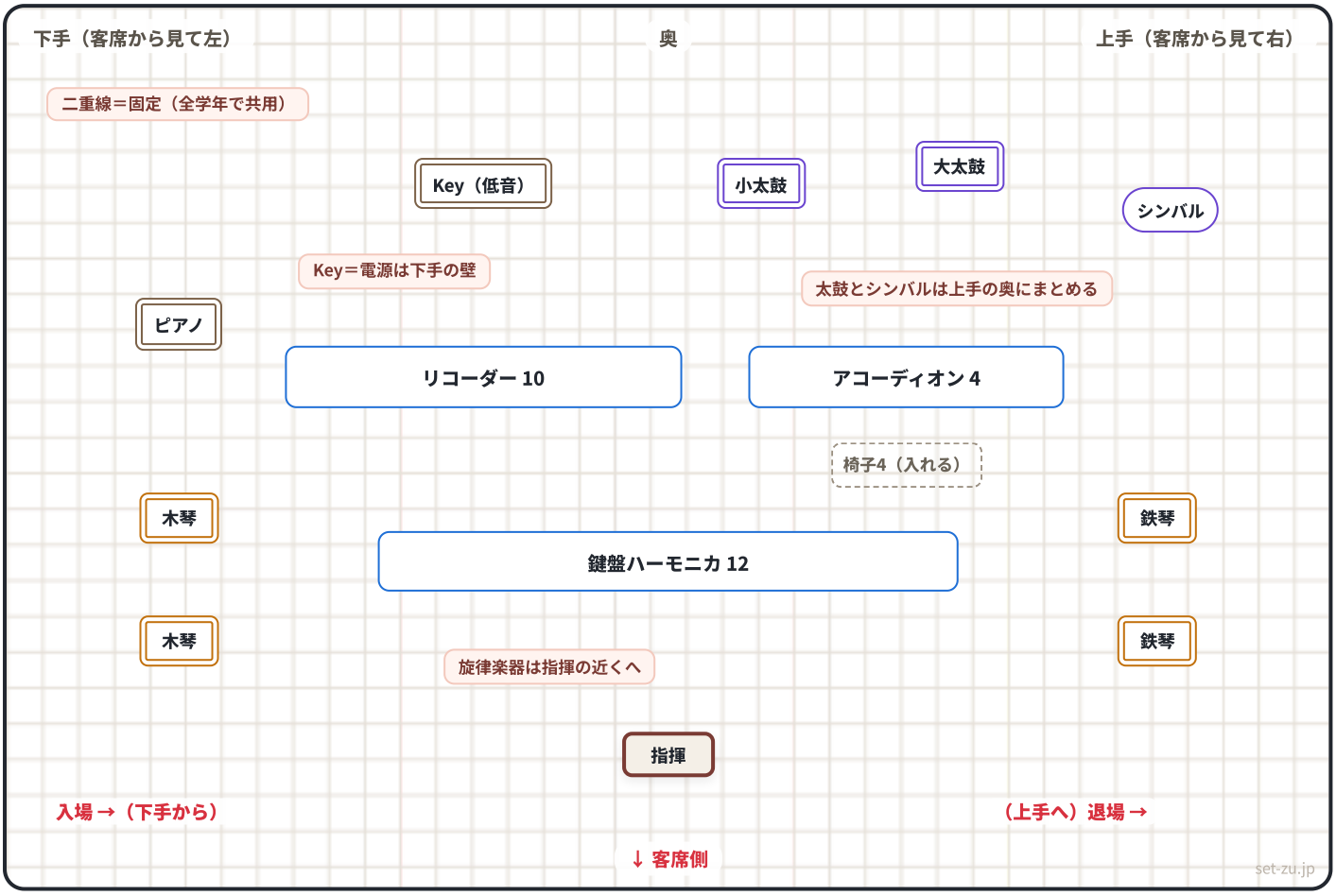
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

器楽合奏 配置図 記入例Ⓐ（高学年・35人）

記入例Ⓐ：高学年の器楽合奏 35人
旋律楽器は指揮の近く・太鼓は上手の奥
人数は**記入例のための想定**

学校・園／学年・クラス	行事（日付・会場）	出演人数	版・日付・確認者
○○小学校 5年生	校内音楽会 11/21（体育館）	35人（指揮は先生）	第2版（11/14） 確認：音楽主任

① 配置図（上手・下手は客席から見た向き。動かさない楽器 → パートのかたまり → 入退場 の順に描く）



書き方：　四角＋人数＝パートのかたまり　▭＝動かさない楽器（固定）　⬚＝入れ替えで出し入れする物

○＝椅子・　✕　＝譜面台（使うパートだけ）　矢印＝入退場

② パート別の人数・台数・置き方／動かさない楽器・入れ替え・入退場

パート（楽器）	人数	台数	置き方	メモ（固定・持って入る・電源）
鍵盤ハーモニカ	12	12	立奏	各自で持って入る
リコーダー	10	10	立奏	各自で持って入る
アコーディオン	4	4	椅子	椅子4脚を入れる
木琴	2	2	立奏	固定
鉄琴	2	2	立奏	固定
キーボード	1	1	立奏	固定・電源あり
ピアノ	1	1	椅子	固定（会場の位置）
小太鼓・大太鼓	2	2	立奏	固定
シンバル	1	1	立奏	手で持つ
合計	35	35		椅子5・譜面台1（指揮）

動かさない楽器（固定）
ピアノ・木琴2・鉄琴2・キーボード・小太鼓・大太鼓
全学年で共用。位置を変えない

入れ替えで出し入れする物
入れる：アコーディオン4・椅子4
出す：4年生の机6
運ぶ人：5年生の係4人と先生2人

入退場・待つ場所
入場：下手 ／ 退場：上手
6年生は下手側の通路で待つ
入れ替えは学校で決めた時間で

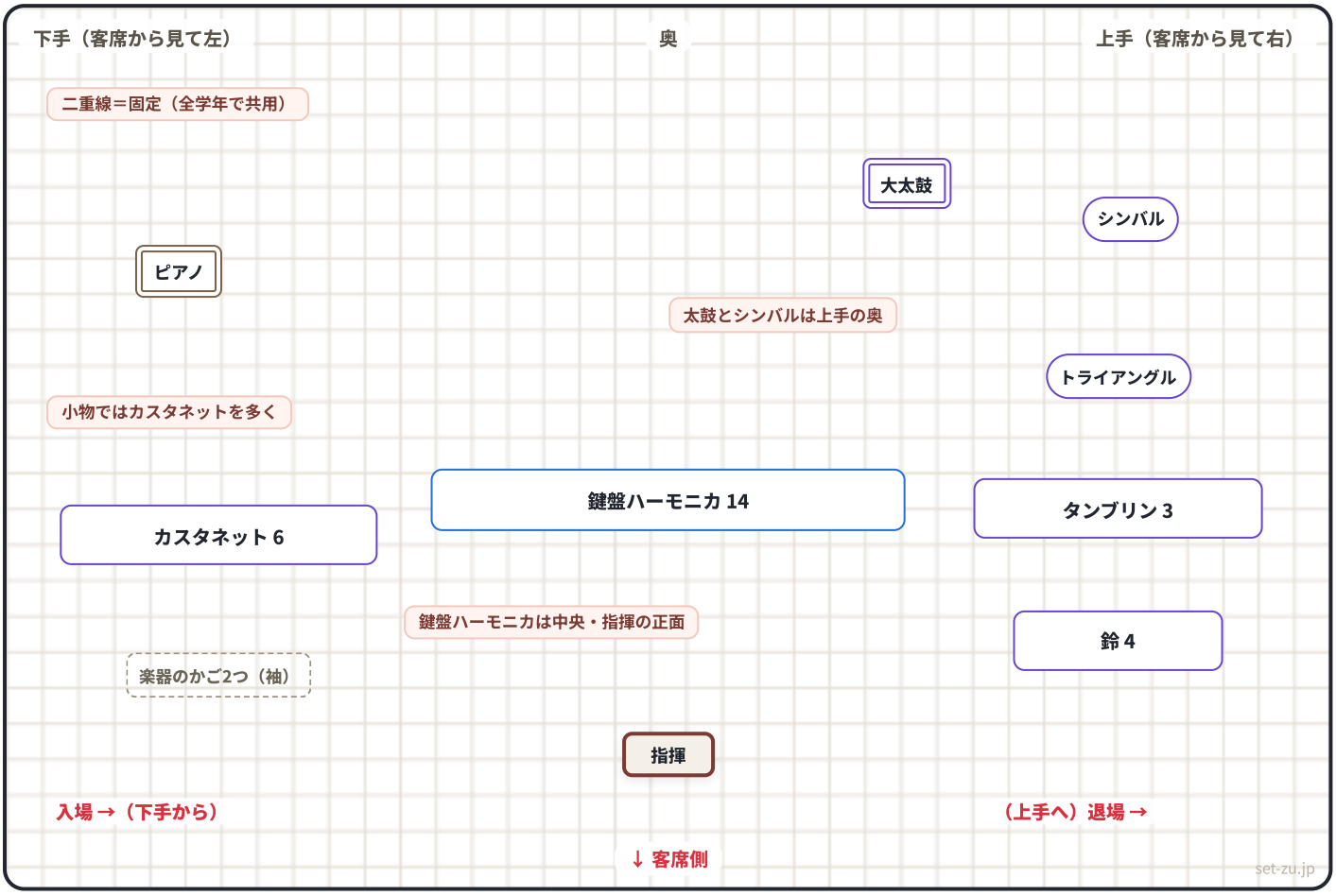
このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

器楽合奏 配置図 記入例Ⓑ（低学年・30人。園の合奏にも）

記入例Ⓑ：低学年のリズム合奏 30人
鍵盤ハーモニカ＋小物の打楽器
人数は記入例のための想定

学校・園／学年・クラス	行事（日付・会場）	出演人数	版・日付・確認者
○○小学校 2年生	校内音楽会 11/21（体育館）	30人（指揮・伴奏は先生）	第1版（11/10） 確認：学年主任

① 配置図（上手・下手は客席から見た向き。動かさない楽器 → パートのかたまり → 入退場 の順に描く）



書き方：　四角＋人数＝パートのかたまり　▭＝動かさない楽器（固定）　⬚＝入れ替えで出し入れする物

○＝椅子・　✕＝譜面台（使うパートだけ）　矢印＝入退場

② パート別の人数・台数・置き方／動かさない楽器・入れ替え・入退場

パート（楽器）	人数	台数	置き方	メモ（固定・持って入る・電源）
鍵盤ハーモニカ	14	14	立奏	各自で持って入る
カスタネット	6	6	立奏	袖のかごから取る
鈴	4	4	立奏	袖のかごから取る
タンブリン	3	3	立奏	袖のかごから取る
トライアングル	1	1	立奏	
大太鼓	1	1	立奏	固定
シンバル	1	1	立奏	手で持つ
ピアノ（先生）	—	1	椅子	固定（会場の位置）
合計	30	31		椅子1・譜面台1（指揮）

動かさない楽器（固定）
ピアノ・大太鼓
全学年で共用。位置を変えない

入れ替えで出し入れする物
入れる：小物の楽器のかご2つ
出す：なし
かごは下手袖。先生が配って回収

入退場・待つ場所
入場：下手 ／ 退場：上手
3年生は下手側の通路で待つ
立つ位置は床の目印に合わせる

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

器楽合奏の配置 早見表 楽器・並べ方の手がかり・記号

並びに**正解はない**。決めた並びを書く
旋律楽器は**指揮の近く**、太鼓は**まとめる**
音の小さい楽器ほど**人数を多く**

① 学年と楽器（平成29年告示 小学校学習指導要領 音楽）

学年	取り上げる旋律楽器	配置図に書くこと
1・2年	オルガン、鍵盤ハーモニカなど	鍵盤ハーモニカは**人数のかたまり**で描く。立って吹くか、机に置くかを書く
3・4年	既習の楽器に加えて、リコーダーや鍵盤楽器、和楽器など	リコーダーは**譜面台を使うか**を書く
5・6年	既習の楽器に加えて、電子楽器、和楽器、諸外国に伝わる楽器など	キーボードなど電子楽器は**電源の位置**も書く
打楽器	各学年とも、木琴・鉄琴・和楽器・諸外国に伝わる楽器を含めて選ぶ	木琴・鉄琴・太鼓は**1台ずつ**描く

どの楽器を使うかは、どの学年も「児童や学校の実態を考慮して選択する」とされていて、決まった編成はありません。合奏で扱う楽器は、各声部の役割を生かした演奏ができるよう、楽器の特性を生かして選ぶと書かれています。

② 並べ方の手がかり（昭和26年の学習指導要領〈試案〉の6つの配置図から）

手がかり	当時の図・本文	描くときの読み替え
指揮とピアノ	6つとも、指揮は手前の中央、ピアノはその奥の中央。全体は**指揮を囲む半円**	全員から指揮が見える半円に。ピアノは**会場に置いてある位置**に合わせる
旋律楽器	一般的な編成の図では、ハーモニカ・木琴・笛・オルガンが**内側の弧**（指揮の近く）	鍵盤ハーモニカ・リコーダーを指揮の近くへ
リズム楽器	一般的な編成の図では、カスタネット・鈴・トライアングル・タンブリンが**外側の弧**	小物の打楽器は外側か後ろの列へ
太鼓とシンバル	6つとも、大太鼓・小太鼓・シンバルは**隣り合わせで上手側**（多くは奥）	太鼓とシンバルは離さずに置く
人数の配分	「音量の少ないハーモニカを最も多くし、次いで木琴・弦楽器・笛類の順で少なく」	音の小さい楽器ほど人数を多く
リズム合奏	「カスタネットを最も多くし、拍子木・鈴・タンブリンの順に少なく」。シンバル・太鼓・トライアングルは1つ	低学年・園のリズム楽器の数を決めるときに

70年以上前の資料で、当時のハーモニカや笛は、今の鍵盤ハーモニカやリコーダーとは別の楽器です。右の列の読み替えは当サイトによるもので、正解の並びを示すものではありません。学校の楽器と人数、会場の広さで決めてください。

③ 配置図の記号

記号	意味	書き添えること
四角＋人数	**パートのかたまり**	「鍵ハ 12」のように**楽器名と人数**。1人ずつ描かなくてよい
実寸の四角	**1台ずつ置く楽器**	木琴・鉄琴・太鼓・キーボード・ピアノ。**台数ぶん**描く
二重線	**動かさない楽器**	全学年で使う楽器。「固定」と書き、**位置を変えない**
点線の四角	**入れ替えで出し入れする物**	児童が持って入る楽器・椅子・机・譜面台
○ と ×	**椅子と譜面台**	使うパートだけ。**数**を表に書く
矢印	**入場と退場**	入る袖・出る袖・次の学年が**待つ場所**

上手・下手は客席から見た向きで書きます。椅子＝○・譜面台＝×は、吹奏楽の大会の様式で使われている記号です。行事や会場の様式（記入用紙）があれば様式が最優先で、このルールは様式が無いときの書き方です。

④ 略記号の例（図が混むときだけ。日本語のままでよい）

旋律楽器	鍵盤ハーモニカ **鍵ハ**　ソプラノリコーダー **SR**　アルトリコーダー **AR**　アコーディオン **Acc**
鍵盤・低音	ピアノ **Pf**　オルガン **Org**　キーボード **Key**　低音の鍵盤楽器 **Bass**
音板の打楽器	木琴 **Xylo**　鉄琴 **Glock**　マリンバ **Mar**　ビブラフォン **Vib**
太鼓・小物	大太鼓 **B.D.**　小太鼓 **S.D.**　シンバル **Cym**　ティンパニ **Timp**

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**

© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

入れ替え・会場・提出前チェック 当日に止まらないために

行事は**その年の要項と様式**が最優先
動かさない楽器は**全学年で同じ位置**
変えたら**版を上げて**出し直す

① 学年の入れ替え（転換）を配置図に書く4ステップ

手順	やること
① 固定を決める	ピアノ・木琴・鉄琴・太鼓など、**全学年で動かさない楽器**を先に決め、位置を固定する
② 学年ごとに1枚	固定の楽器は同じ位置のまま、**その学年が使う物だけ**を書き足す
③ 出し入れの表	学年の間に**出す物・入れる物・運ぶ人**を表にする
④ 入退場	入る袖・出る袖と、次の学年が**待つ場所**を矢印で書く

入れ替えの時間や出入りの袖は、行事の要項で決まっていることがあります。全日本小学生バンドフェスティバル（2024年）の要項は、入れ替え3分・下手から入場・上手へ退場でした。校内の音楽会は、学校で決めた進行に合わせます。

② 校内（体育館・音楽室）と校外（ホール・コンクール）で変わること

項目	校内（体育館・音楽室）	校外（ホール・コンクール）
ピアノ	置いてある位置のまま描く。動かすなら人数と時間も	会場の位置に合わせる。**ステージに1台**と決めている要項もある
段（ひな壇）	使う段と、段に載せるパートを書く	段の数と寸法を会場に聞いてから描く
椅子・譜面台	学校の物。出す数を表に書く	会場の備品か持参かを要項で確かめる
楽器	音楽室から運ぶ物と通り道を書く	貸し出しの有無。**持参なら置き場と運ぶ順**
電源	キーボードの差し込み口の位置	使えるか・どこにあるかを会場に聞く

③ 連合音楽会・コンクールに出すとき（要項の例）

項目	要項の例	配置図に書くこと
部門と人数	器楽合奏は35名以下が合奏第1、36名以上が合奏第2	出演人数を表の合計に書く
ピアノ	各会場のステージに1台を用意	使うかどうか。位置は会場に合わせる
譜面台	指揮者用だけステージに用意。児童・生徒用は持参	持参する譜面台の数
楽器	貸し出しなし。各団体で持参し、ロビーと舞台袖に楽器置場	運ぶ楽器と、袖に置く物
配置図の変更	出場の5日前までにFAXかメール。当日持参は5部	版の数字と日付

例はTBSこども音楽コンクール（令和7年度・第73期）の実施要項です。行事と会場ごとに違うので、その年の要項と様式が最優先です。

④ 園の発表会の合奏で書くこと

項目	配置図に書くこと
立つ位置	楽器ごとのかたまりと人数。床に貼る**目印の位置**も図に入れる
先生の位置	指揮・ピアノ伴奏・そばで支える先生がどこに立つか
楽器の受け渡し	楽器をどこに置いておき、だれが配ってだれが回収するか
出入り	入る側・出る側と、次のクラスが待つ場所

⑤ 提出前・当日チェック（12項目）

並び

- ☐ **指揮から全員が見える**
  端のパートに立って確かめる
- ☐ **鍵盤ハーモニカ・リコーダーは指揮の近く**
- ☐ **太鼓とシンバルを離していない**
- ☐ **ピアノは会場の位置のまま**
  動かすなら人数と時間

数

- ☐ **パート別の人数と図のかたまりが一致**
- ☐ **1台ずつ描く楽器の台数**
  木琴・鉄琴・太鼓・キーボード
- ☐ **椅子と譜面台の数**
  使うパートだけ
- ☐ **電源を使う楽器と差し込み口**

入れ替え

- ☐ **動かさない楽器に「固定」の印**
- ☐ **学年の間に出す物・入れる物・運ぶ人**
- ☐ **入る袖・出る袖・待つ場所**
- ☐ **版の数字と日付、提出の部数**
  要項で確かめる

ファイル名の型（メールで送るなら）
学校名_行事名_学年_配置図_第2版.pdf
版の数字を入れると、差し替えたときに取り違えない

セット図くんで作るなら
動かさない楽器を先に置き、学年ごとに複製してパートの四角を足すだけ。学年の数だけ図を保存して、PDFと共有URLで渡せます。
set-zu.jp/app/（登録不要）

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp